

平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	自動車ナンバー自動読取装置の整備		担当部局庁	情報通信局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和61年度～		担当課室	通信施設課		通信施設課長 塚原 秀利	
会計区分	一般会計		政策・施策名	複数施策(1～7)			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するため、通過する自動車のナンバーを自動的に読み取り、手配車両のナンバーと照合する自動車ナンバー自動読取装置を整備する。						
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	0	85	205	18	
		繰越し等	0	0	1,512		
		計	2,028	0	1,330	1,330	
	執行額	2,028	85	387	1,348		
	執行率(%)	94%	84%	43%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	(成果目標) 自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するための自動車ナンバー自動読取装置の整備		成果実績 累積整備数	1,496	1,496	1,498	1,498
	(成果実績) 累積整備数		達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	年間整備数(更新・増強)		活動実績(当初見込み) 年間整備数	増強:455 更新:120 (増強:455 更新:120)	更新:5 (更新:5)	増強:2 更新:13 (増強:2 更新:37)	- (更新:25)
単位当たりコスト	11,133(千円/箇所)		算出根拠	1箇所当たりの更新経費(設置工事費)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	物品購入費	6					
	雑役務費	12					
	計	18					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			自動車利用犯罪の検挙(広域犯罪対策)に極めて効果的な装置であり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			全国的に仕様を統一する必要がある通信資機材については、警察庁において競争入札等により一括調達するなど、競争性、効率性、経済性について、十分検討の上、実施している。 また、不用率が大きい理由は、各種通信資機材の調達に当たり、競争入札を実施した結果、見込み額より安価で落札したからである。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			事業を実施することにより、自動車利用犯罪の検挙の手段として、高い効果が得られるものである。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	-		
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業に係る機器設置工事費等については、地方機関に予算配賦して執行しているが、地方機関から執行状況の報告を受けているので、支出先・使途については把握している。					
	2 見直しの余地 自動車ナンバー自動読取装置は、自動車利用犯罪の検挙に極めて効果的であることから、引き続き実施する必要がある。 予算要求に際して、契約実績額、市場調査に基づく金額及び内容の精査を行っているほか、契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っている。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	当初8-5、補正3-3	平成23年	52	平成24年	37

警察庁
167万円

自動車ナンバー自動読取装置の整備に必要な資機材等を直接購入し、地方機関に配備するとともに、各管区等に機器設置工事費等必要な予算を配賦



<物品購入等>
【一般競争入札等・随意契約(その他)】

A.民間会社
(2者)
107百万円

自動車ナンバー自動読取装置の整備に必要な物品を納入

【予算配賦】

B.北海道警察情報通信部

北海道警察情報通信部
13百万円

各管区警察局
(6機関)
47百万円

自動車ナンバー自動読取装置の整備に必要な経費を支出

<工事費等>
【一般競争入札等・随意契約(少額)】

C.民間会社
(2者)
13百万円

自動車ナンバー自動読取装置の整備に必要な機器設置工事等を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.A(株)			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
物品購入費	自動車ナンバー自動読取装置の購入等	55			
計		55	計		0
B.北海道警察情報通信部			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
予算配賦	自動車ナンバー自動読取システムの整備に要する経費	13			
計		13	計		0
C.(株)A			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	通信機器更新等工事	13			
計		13	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	A(株)		55		
(内訳)		自動車ナンバー自動読取装置の購入	28	3	
		自動車ナンバー自動読取装置の購入	27	3	
2	B(株)		51		
(内訳)		自動車ナンバー照合装置の購入	48	2	
		自動車ナンバー照合装置用基板の購入	3	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道警察情報通信部	予算配賦	13		
2	近畿管区警察局	予算配賦	13		
3	関東管区警察局	予算配賦	12		
4	九州部管区警察局	予算配賦	10		
5	中部管区警察局	予算配賦	7		
6	東京都警察情報通信部	予算配賦	4		
7	四国管区警察局	予算配賦	1		
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)A	通信機器更新等工事	13	2	
2	B(株)	通信機器更新設計委託	0.3	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

自動車ナンバー自動読取装置の整備

自動車利用犯罪の迅速かつ的確な検挙のため、
自動的に自動車のナンバーを読み取って手配車両のナンバーと照合する装置を整備

自動車ナンバー自動読取装置の概要

